

2018年度

## S 世界史問題

### 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

#### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古代ギリシアの地理認識の範囲は、東はインドまでと考えられていた。ギリシア世界を制圧したのちにペルシア遠征を企図した（イ）の死後、その子アレクサンドロスがその遺志を継いで征服した領土の東端はくあ＞川流域に及んでおり、「世界を統一した」と考えられた。しかし、その東にも世界は広がっている。

12世紀のヨーロッパでは、はるか東方にヨハネと呼ばれる司祭のもとでキリスト教を信奉する王国があり、イスラーム勢力に勝利したとする伝説が流布した。この伝説は英語で「プレスター＝ジョン伝説」と呼ばれる。唐代の中国で（ロ）教と呼ばれたキリスト教ネストリウス派が、ウイグル人の一部で信仰されていたことが、この伝説の背景にある。また、西遼を建国した<sup>1)</sup>（ハ）が当時、トゥグルル＝ベクが創建した（ニ）朝との戦いで勝利を収めたことも関係していると考えられている。なお、西遼の支配層は仏教を信仰していたが、その軍内にネストリウス派キリスト教徒が含まれていた可能性はある。

モンゴル帝国がイスラーム圏に版図を広げると、ヨーロッパ勢力はそこに伝説の王国を探ろうとした。フランス国王が派遣したくい＞などが、関連する記述を残している。14世紀後半にイスラームを信奉するティムールは東方に勢力を広げ、中国にまで遠征しようとしたが、その途上で1405年に病死する。もし遠征が順調に進んだとしたら、モンゴル高原に親征した中国の皇帝くう＞と激突したであろう。ティムールが建てたティムール朝<sup>2)</sup>が、ユーラシアの東部にまで勢力を拡大すると、伝説の王国をアジアに探る試みは、下火になった。しかし、例えば17世紀前半からチベットを訪れたイエズス会の宣教師は、戒律を重んじるゲルク派チベット仏教とキリスト教とのあいだに共通点を見出し、その宗派の指導者ダライ＝ラマ<sup>3)</sup>にプレスター＝ジョンのイメージを重ねている。なおゲルク派は漢籍では（ホ）帽派と記載される。

インド以東は15世紀以降も、ヨーロッパ人を魅了し続けた。特に主権国家が形成されるなかで、本国で居心地の悪さを感じていた人々が、東方に引き寄せられた。ポルトガルはアフリカに司祭ヨハネの王国を探すという目的もあり、アフリカ西海岸の探検に乗り出し、（ヘ）の治世にはアフリカ大陸の南端に到達し、東方への航路を拓く端緒が生まれた。イベリア半島で異端審問が激しくなり、ユダヤ教からキリスト教に改宗せざるを得なくなった人々には、疑いの目が向けられた。改宗ユダヤ人のなかには、新天地を求めて東方に向かった者が少なくなかった。16世紀の東南アジアでは、現在のタイ王国に（ト）朝、ミャンマーにビルマ人の建てたくえ＞朝が繁栄を遂げていた。これらの王朝は、ポルトガル人を備兵として抱えたり、商人として貿易に従事させたりしていたが、彼らのなか<sup>4)</sup><sup>5)</sup>

にも改宗ユダヤ人がいたと思われる。マラッカがポルトガル人の手に落ちると、これに対抗してマレー半島南部の< お ><sup>6)</sup>などのイスラーム港市国家が形成された。

18世紀以降、イギリス東インド会社の東方進出を背景にしてアジアで活躍したイギリス人のなかには、スコットランドの出身者が多い。イングランド王ジェームズ2世の孫が1745年にフランス国王（チ）の後ろ盾を得てスコットランドに上陸、同地のクラン（氏族）を糾合してイギリス政府軍と戦った。翌年にカロデンの戦いで政府軍が勝利すると、クランは解体され伝統衣装キルトの着用も禁止された。なお（チ）の統治下のフランスは、七年戦争におけるイギリスとの戦いで多くの植民地を失っている。

スコットランドの産業界では、中央政府の介入に抗する気風が強くなった。そうした発想から出発して分業と市場経済の基礎理論を体系化したスコットランド出身の学者が、グラスゴー大学道徳哲学教授であった（リ）である。彼の協力を得てスコットランド人のワットは、< か >が考案した装置を改良するために必要な作業場を大学内に確保することができた。イギリス本国でスコットランド人が栄達の道を進むことは難しかったため、多くの青年が海外に出た。その1人ジャーディンは、東インド会社の船医として務めたあと独立して、商社を設立しアヘンを扱った。イギリスが自由貿易体制へと移行する<sup>8)</sup>なかで、茶葉の取引に乗りだして財を築いた。彼は中国での自由な貿易を可能とするため、外務大臣パーマストンにアヘン戦争遂行に必要な情報を提供したとされている。日本の近代化<sup>9)</sup>に関わったグラバーもまた、スコットランド人である。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<か>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- |     |              |          |            |          |
|-----|--------------|----------|------------|----------|
| <あ> | a. イラワディ     | b. インダス  | c. ガンジス    | d. ティグリス |
| <い> | a. プラノ＝カルピニ  |          | b. マルコ＝ポーロ |          |
|     | c. モンテ＝コルヴィノ |          | d. ルブルック   |          |
| <う> | a. 永楽帝       | b. 乾隆帝   | c. 洪武帝     | d. 万曆帝   |
| <え> | a. アラウンパヤー   |          | b. タウンゲー   |          |
|     | c. パガン       |          | d. ラーンサーン  |          |
| <お> | a. アチェ       | b. ジョホール | c. バンテン    | d. マタラム  |
| <か> | a. アークライト    |          | b. クロンプトン  |          |
|     | c. ダービー      |          | d. ニューコメン  |          |

C. 文中の下線部1)～9)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。

1. この民族が建国した国を9世紀に滅ぼした民族の名をしるせ。
2. この王朝が15世紀初頭から滅亡するまでのあいだ首都としたアフガニスタン西部の都市の名をしるせ。
3. この称号を16世紀にチベットの宗教指導者に与えた人物の名をしるせ。
4. 1930年にこの国でラングーン大学の学生を中心に結成され、反英独立運動を展開した組織の名をしるせ。
5. この民族の多くが信仰する宗教は、11世紀頃にあらためて受け入れられた上座部仏教である。この宗教はそのとき、どこから直接にもたらされたか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。  
a. スリランカ    b. タイ    c. 中国    d. ネパール
6. イギリスは1826年に、この地を含む海峡植民地を築く。マラッカとシンガポールの他に、海峡植民地に含まれる島の名をしるせ。
7. スコットランド出身でスコットランドの言葉を用いた詩作で知られるロバート＝バーンズは、イギリスにおけるロマン主義運動の先駆者に位置づけられる。湖水地方に住んで歌謡集などを著したロマン主義に属する文学者を次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。  
a. サッカレー    b. チョーサー    c. ディケンズ    d. ワーズワース
8. この動きのなかで廃止された次の事項a～dのうち、もっとも早く廃止されたものを解答欄のiに、次に早いものをiiに、以下同じようにivまで年代順にマークせよ。  
a. 航海法  
b. 穀物法  
c. 東インド会社のインド貿易独占権  
d. 東インド会社の中国貿易独占権
9. パーマストンが外務大臣のときに、3回におよぶアフガン戦争の第1次が始まる。イギリス側から見た第1次、第2次、第3次の戦争の結果の順番が正しいものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。  
a. イギリス勝利 → アフガニスタン独立承認 → アフガニスタン独立再認  
b. イギリス勝利 → アフガニスタン保護国化 → アフガニスタン独立承認  
c. イギリス敗退 → アフガニスタン独立承認 → アフガニスタン独立再認  
d. イギリス敗退 → アフガニスタン保護国化 → アフガニスタン独立承認

II. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古くから人びとは様々なかたちで「数」と向き合ってきた。狩猟・採集を生活の基盤としていた時代には、獲物の数や採集できた食物の量といった数字は、生きていくうえで重要な意味を持っていた可能性がある。農耕や牧畜が開始されてからは農作物の収穫量や家畜の頭数、農地の面積といった数字も生死に直結するものとして人びとに意識されていたはずであり、これらの数を数えるという行為も生活を支えていくために必要不可欠な作業であったと考えられる。

メソポタミア南部に最古の都市文明を築いたシュメール人は、数を数えるための方法として60進法と10進法を用い、数えた数や計算の方法などを粘土板に記録していた。エジプトでは距離や面積を測るための方法が比較的早い時期から発達していたとされる。測量技術が発達したのは、定期的に発生するナイル川の氾濫にともない頻繁に土地の境界を決定する必要性があったためとも考えられており、この技術はピラミッドの建設などにも活かされた。これらの地域では単に数を数えるだけでなく、割り算や方程式を解くといった、数についてのより複雑な取り扱い方も生み出されていたことが分かっている。

このように、数を数えるという行為は次第に複雑・高度化し、やがて数学という1つの学問体系として発展していくこととなる。この過程で重要な役割を果たしたのが古代ギリシアに生きた人びとである。紀元前6世紀にミレトスを中心とした（イ）<sup>5)</sup>地方で合理的な思考によって世界を理解しようとする自然哲学が生まれたが、その開拓者ともされるタレスは幾何学についての重要な命題も残しており、数学者としての一面ももっていた。また、当時として世界最大規模を誇った付属図書館を有するアレクサンドリアのムセイオンで学んだエウクレイデスは平面幾何学を大成し、その著書『幾何学原本』は数学の発展に多大な影響を与えることとなった。これと近い時代には浮力の原理の発見や円周率の計算で知られるアルキメデスもあり、数学の進歩に大きな貢献を果たした。

これらの傑出した才能の活躍もあり、地中海周辺地域において数学は更に発展していったが、5世紀にゲルマン人傭兵隊長の（ロ）<sup>8)</sup>が西ローマ帝国を滅ぼすと、この地で受け継がれてきた古代ギリシアの数学の知識は、主にビザンツ帝国において継承されることとなった。やがて9世紀頃になると、古代ギリシアやインドにおいて蓄積された数学の知識を吸収したイスラーム世界において、数学の研究が盛んにおこなわれるようになる。アッバース朝の時代にはアラビア数学を確立し代数学を発展させた人物が活躍したが、この人物の名前はアルゴリズム（筆算）という言葉の語源となっている。また、この人物の著書の中には翻訳され、中世ヨーロッパにも広まり、大学で教科書として長く使われたもの<sup>10)</sup>

も存在した。

地中海周辺地域やイスラーム世界以外の地域でも数学史上の様々な発見がなされた。たとえば、ゼロという概念はバビロニアやマヤ文明でも用いられていたとされるが、現在我々が使用しているゼロの考え方はインドにそのルーツがあるとされる。中国では、前1世紀頃から『九章算術』と呼ばれる中国最古の数学書の編纂が始まったとされており、本書には後年様々な注釈が加えられ内容の豊かな書物になっていった。また、魏晉南北朝時代に祖沖之が円周率の近似値を計算することに成功しており、独自の数学が発展していたことがうかがえる。さらに明の時代にはエウクレイデスの著書が漢訳され、その知識が広まることとなった。

再びイスラーム世界における数学に目を向けると、12世紀頃にはレコンキスタなどを通じて西欧世界とイスラーム世界とが接触する機会が増えたことで、イスラーム世界において育まれた数学の知識が書物の翻訳などを通して、次第に西欧に広まっていった。これにより、その後いくつもの重要な数学的発見が西欧においてなされることとなる。たとえば、1687年に刊行された『プリンキピア』の著者であるニュートンは、微分積分の分野を確立した。また、これとは別に「単子論」を説いた（ハ）も微分積分を発見している。このほかにも数多くの重要な数学的発見がなされ、現代数学の骨格が作られていった。

現在、数学は様々な分野に応用されており、物理学や統計学、経済学などその範囲は多岐に渡る。たとえば、相対性理論を創始したアインシュタインも分析の枠組みとして数学を利用しており、また、近年注目されている気候変動問題に関してもその影響の予測などのために数学の知識が利用されている。数学は様々な面で私達の生活を支えているのである。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～22)にそれぞれ対応する次の問1～22に答えよ。

1. 1940年に南西フランスで発見された、狩猟の様子などが鮮やかに描かれた旧石器時代後期の洞窟遺跡の名をしるせ。
2. 史上はじめてこの地を統一し、アッカド王国を建国した王の名をしるせ。
3. インカ帝国で用いられた縄を使って数字などの情報を記録・伝達する手段を何と呼ぶか。その名をしるせ。

4. クフ王のピラミッドやスフィンクスがあることで知られる都市はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カデシュ      b. ギザ      c. サイス      d. テーベ
5. これに関する記述として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アテネを盟主としてペロポネソス同盟が結成された  
b. コイナーと呼ばれる共通語が形成された  
c. 古代ギリシア人は異民族をバルバロイと呼んだ  
d. ヘシオドスが『神統記』を著した
6. この施設を建設した王朝の名をしるせ。
7. この人物はローマとカルタゴの勢力との間に起きた戦争の最中にローマ兵に殺害されたとされている。前202年にスキピオが指揮するローマ軍がハンニバル率いるカルタゴ軍に勝利した戦いを何と呼ぶか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. カイロネアの戦い  
b. カンナエの戦い  
c. ザマの戦い  
d. マラトンの戦い
8. この時代の出来事として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ヴァンダル王国が滅ぼされた  
b. エフェソス公会議が開催された  
c. 孝文帝が均田制を実施した  
d. 太武帝が華北を統一した
9. この人物の名をしるせ。
10. 中世ヨーロッパの大学および学問に関する記述として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アンセルムスは唯名論を唱えた  
b. 学問の世界ではラテン語が共通語として使われた  
c. 中世では神学が最高の学問とされた  
d. ボローニャ大学は法学研究で知られた

11. 古バビロニア王国の滅亡後、ザグロス山脈方面からバビロニアに侵入し一時メソポタミアを支配した民族の名をしるせ。
12. この文明は16世紀にスペイン人によって滅ぼされた。スペインは先住民の国を征服することで中南米にその支配地域を築いたが、この地域のスペイン植民地において、それまで用いられていた先住民の保護とキリスト教化を条件として植民者に土地の支配を委託する制度に代わり、17世紀に広まった大土地所有制度を何と呼ぶか。その名をしるせ。
13. この地で前6世紀頃に編纂されたとされるウパニシャッドでは、宇宙の根本原理と自己とを合一することで解脱することができるかと説かれている。このうち、宇宙の根本原理を何と呼ぶか。その名をしるせ。
14. 注釈を作った人物のひとりに劉徽がいる。この人物は三国時代の魏の数学者であったが、この王朝の初代皇帝は誰か。その名をしるせ。
15. 晋で発生した帝位を巡る一族の争いによる混乱に乗じて南匈奴が自立し、洛陽・長安を陥落させ晋を滅ぼした出来事を何と呼ぶか。その名をしるせ。
16. この王朝の時代の出来事として正しくないものはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 顧憲成が東林派の指導者として活動した
  - b. 宋応星が『天工開物』を著した
  - c. 董其昌が詩文や書画の作品を生み出した
  - d. 郎世寧が西洋の絵画技法を紹介した
17. この運動は1492年のグラナダ陥落で完了した。この都市を有していたイベリア半島最後のムスリムによる王朝の名をしるせ。
18. 6世紀から8世紀まで西ゴート王国の首都がおかれ、12世紀から13世紀頃にはアラビア語からラテン語への翻訳が盛んにおこなわれていたスペイン中央部に位置する都市はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. コルドバ
  - b. サラゴサ
  - c. トレド
  - d. リスボン
19. 電磁誘導の法則を発見し、電磁気学の基礎を築いた人物は誰か。その名をしるせ。
20. 経済を科学的にとらえた先駆的な著作とされる『経済表』を著した経済学者は誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ケネー
  - b. マルクス
  - c. マルサス
  - d. リカード



21. この人物はバートランド＝ラッセルらとともに1955年、核兵器廃絶と戦争廃止を訴える声明を出した。これを受けて、1957年にカナダで開かれた科学者が核兵器の禁止を訴えた会議を何と呼ぶか。その名をしるせ。
22. 気候変動枠組条約の第3回締約国会議では、各国の温室効果ガス削減の数値目標などが定められた。この会議が開かれた都市はどこか。その名をしるせ。

【以下余白】



